

ドル／円(5/14) 直近108.47円でサポートか、ただ105.37円も視野に



コメント

先週の値動き=急落。月曜日、いきなり112.01円でスタート。水曜日には110.09円を示現。金曜日には一段安となり、109.31円を示現した。

今週の指標=米指標の発表が続く。ただ、荒れることが多い金曜日は材料に乏しい。週半ばまでの重要な米指標に注目したい。詳細はブログにて公開。

テクニカル=長期トレンドを計る基本、**12ヶ月移動平均線**を下回って推移。左図を見る限り、ドル円は基本、**+2σ**の範囲で推移している。その場合、下値は108.47円となる。**ボリンジャーの上下も狭まっており**、目先108円台では底堅いか。ただ勢いがつけば、**-3σ**がある**105円台**も視野に入る。

テクニカル・レート

12ヶ月移動平均線 = 114.67円

+3σ = 123.96円

+2σ = 120.86円

-2σ = 108.47円

-3σ = 105.37円

今月初値 = 113.70円

今月高値 = 114.17円

今月安値 = 109.31円

今月終値 = 110.02円

今週の投資例

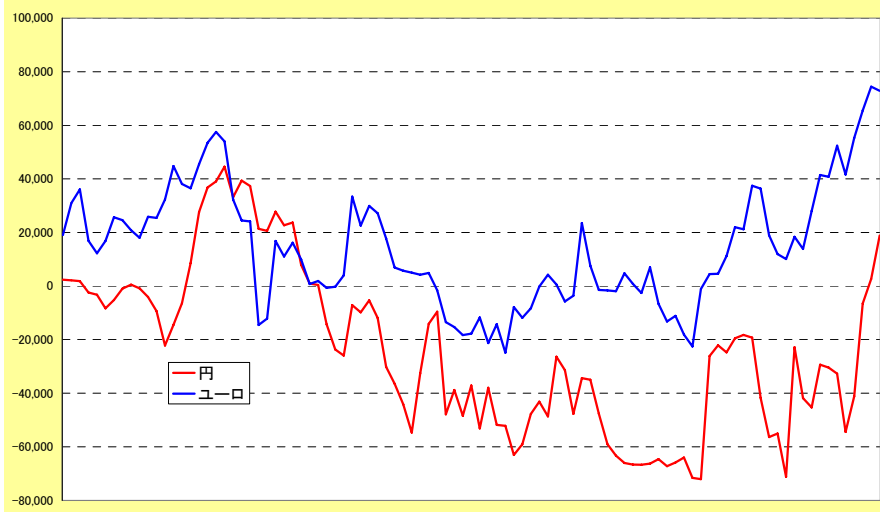
トレンド = 下落

現在値 = 110.02円

保有、逆指値、指値:

テクニカルを利用して、ご自身で考えてみてください

円買いポジション2005年1月と同水準に、インフレ指標には注目

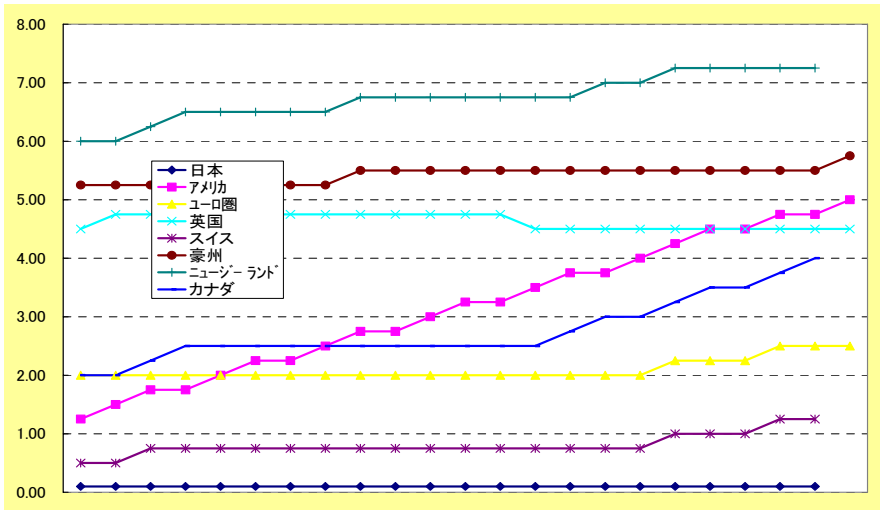


IMM投機筋ポジション動向

5月9日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の買い越しは約1.9万枚。先週から約1.6万枚円買い越しが拡大した。同水準は、2005年1月以来。9日の終値は111.02円。12日の終値は110.02円。さらに買い越しが拡大していそう。

一方、ユーロの買い越しは7.3万枚。意外だが、先週比-0.1万枚縮小した。9日の終値は1.2782ドル。12日の終値は1.2926ドル。引き続き、ユーロ買い越しは過去最高水準にあるだろう。

他通貨でも、買い越しが拡大しており、投機筋の動向を見ても、ドル売り相場が続いている。



各国金利動向

先週は、注目のFOMCが行われた。結果は予想通り25bp利上げされ、政策金利は5.0%となった。左図を見れば分かるように、ドルはすでに高金利通貨といえる。次回以降も、米景気次第で、利上げがあると示唆されている。

米利上げと昨年同様の展開も、為替レートは逆転。ドル安が進んだ。

今週は主要国で、政策金利発表はない。ただ、米国の生産者物価、消費者物価などインフレ指標が発表。また、英BOE議事録や豪RBA月例報告、日BOJ月例報告なども発表される。